



Weekly Report



ロータリーは分かちあいの心

佐世保北ロータリークラブ 2007～2008年度 RI 会長 / Wilfrid J. Wilkinson 地区ガバナー / 野口 清

会長/野畑義博 幹事/湯口純二 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトレアホール（毎週月曜日）
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本 日】会員数47名 出席 30名 欠 席 5名 ビジター 1名 出席率 85.71%
 【前々回】会員数47名 出席 28名 メークアップ 7名 出席規定除外 12名 修正出席率 100.00%

《公式訪問卓話》

野口 清ガバナー



第1071回例会は、第2740地区、野口 清ガバナーをお迎えしての公式訪問例会でした。

野畑義博会長の挨拶で始まり、通常通りの例会進行のあと、野口ガバナーの卓話と続き、ロータリーの歴史

や国際協議会の模様など、ユーモアを交えながらの楽しく、分かりやすい卓話でした。

・国際ロータリーの歴史

シカゴロータリークラブ1905年から1907年頃までは親睦が中心であった。

・1907年以降の課題

1. 世の為人の為の奉仕の自覚
親睦のエネルギーをもって世のため人のためのエネルギーに転化しようと考えた。
2. その運動の拠点としてのロータリークラブを全米に作る（ロータリーの拡大）。
しかし、クラブがロータリー拡大作業をすると、クラブの親睦が崩れる。

・国際ロータリーの歴史

両方（親睦・拡大）の要求を両立させるためには、全米のロータリークラブの合議によって、奉仕哲学の解明とロータリーの拡大だけを専門に遂行する団体を作り、親睦のことは、主としてロータリークラブに委ねれば良いと考えた。これが全米ロータリークラブ連合会でした。

1912年 国際ロータリークラブ連合会

1922年 国際ロータリー

Chesley R. Perry

・国際ロータリーの役割

1. 奉仕の哲学の追及
RI会長のテーマ、4つのテスト等
2. ロータリーの拡大
新しいロータリークラブを作る
3. 情報の伝達
「ザ・ロータリアン」誌を正式文書として地方誌などで全世界、RI等の情報を定期的に伝達する。
という3つの仕事を委託された受託機関

・国際ロータリーの権限

1. 直接監督権（国際ロータリー細則第3条3項）
 - ①標準ロータリークラブ定款の採用
 - ②全世界にロータリークラブを作ること
 - ③ザ・ロータリアン誌、または地域雑誌の購読
2. 指導・助言権（受任義務はない）
 - ①職業倫理訓、モットー、四つのテスト等
 - ②奉仕の実践の提唱
 - ③標準ロータリークラブ定款
1922年にロータリークラブの中核部分だけは全世界のすべてのクラブが共通に持とうという考え方で出来上がったもの。
 - ④一業種一会員制の適用（職業分類表作成）
 - ⑤例会出席適用（1週に1度）

・国際ロータリー

全世界のロータリークラブの連合組織体であって、ロータリアンの集合体ではありません。

国際ロータリーはロータリアンを直接監督し、ロータリアンに指導と助言を与えることは出来ない。

・規定審議会

- ①国際ロータリーの立法機関
- ②3年毎に開催
- ③投票権
クラブ会員数 75名まで1票
76名～125名までは2票

126名～175名までは3票
176名～225名までは4票

・今年度RIのテーマ

Rotary shares

ロータリーは分かち合います

分かち合うとは、自分に不要になったものを施すこと
ではありません。

(その他、国際協議会の模様などを話されました)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

《幹事報告》湯口純二 幹事

1. 例会変更

・北松浦RC

9月18日(火) 12:30→9月16日(日)

9:30 佐々文化会館

・佐世保西RC

9月4日(火) 12:30→9月1日(土)・2日(日)

8:30～ 佐世保市体育文化館大体育室

(少年少女ミニバスケットボール大会開催のため)

9月18日(火) 12:30→9月22日(土) 16:00

富士国際ホテル例会場(新入会員歓迎会のため)

2. 来 信

・ロータリーの友事務所 ロータリーの友 9月号

・ガバナー事務所 ガバナー月信 9月号

・06～07ガバナー事務所 ガバナー月信 総集編

・07～08年度 第2740地区 地区大会事務局

RI 2740地区2007～2008年度地区大会

【ご宿泊のご案内】

・第2740地区米山記念奨学委員会

米山奨学生の卓話派遣時の交通費についてお知らせ
事項

・佐世保RC

「クラブ現況、活動計画および報告書」

・佐世保西RC

市内SRC会長・幹事会親睦ゴルフスタート時刻の案内

・佐世保中央RC

クラブ現況と活動計画書 前年度活動実績報告書

・財)佐世保地域文化事業財団

アルカスSASEBO情報誌「コンパス」送付のお知らせ

《来訪ロータリアン》

・佐賀RC 野口 清ガバナー

《今月の結婚祝》

S. 50. 9. 27 鈴木正昭・悦子夫妻

《今月の誕生祝》

S. 14. 9. 6 宮地正博君 S. 14. 9. 16 福田俊郎君
S. 18. 9. 2 平石晃一君 S. 23. 9. 9 大鳥居 宏君
S. 23. 9. 19 野畑義博君 S. 24. 9. 5 鈴木正昭君

《委員会報告》

緒方信行国際奉仕副委員長

①9月2日開催の、地区国際奉仕部門研修セミナーの報告

②11月1日～4日 アモイ訪問の件

永田武義職業奉仕委員長

10月1日(この道ひと筋)職業人表彰を行います。会員の
周りに、技術ひと筋、永年勤続の方が、いらっしゃった
らご紹介下さい。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

《RIニュース》

ロータリー財団コンタクト・センターが答えます

あなたは、財団プログラム(例えば、国際親善奨学
金やGSEなど)について質問がありますか?

あなたのクラブは、財団補助金申請の過程についての質
問を考えたことがありますか?

あなたは、ポール・ハリス・フェローになるために後
いくら寄付する必要があるか疑問に思っていないせん
か?

財団職員チームは、ロータリー財団コンタクト・セ
ンターでこれらの全ての質問に答えています。
今年6月には5,500件以上の電話と電子メールを取り扱
いました。そして、質問の数は2006年10月の最初の取
り扱いの倍になりました。フリーダイヤル(866-
9-ROTARY)は、現在、北アメリカ発信のみに利用できま
す。しかし、電子メールは世界中の誰でも利用するこ
とができます。

ただし現在、英語のみとなっています。

コンタクト・センターのクリフトン・ヒアリーマ
ネージャーは、質問者の90～95%が、たちどころに回
答を得られると言います。

いくつかの質問については調べが必要なこともあり
ます(例えば特定補助金の質問とか)。

その際は、質問は補助金コーディネーターに送られま
す。

我々はロータリアンの皆様に彼らの献金履歴をメー
ルすることができます。

「我々は補助金のための活動報告ファイルを提供する
ことができます。」

「我々はロータリー財団のすべての部門に関する一般
質問に答えることができます。」とヒアリー氏は言い
ます。

ロータリー財団コンタクト・センターへの電話 866-
9-ROTARY (866-976-8279)または電子メール contact.
center@rotary.orgは、月曜日～金曜日までのアメリカ
中部標準時午前8時から午後5時までにご連絡下さい。

ローレンス・チェウとベルン・イゴッチェはライラ (RYLA=ロータリー青少年指導者養成プログラム) にとっても熱心です。

「昨年のプログラムは、25ヶ国から124人の参加者がありました」また、「それは、私に興奮を与えました。」とチェウ(27)は言います。

毎年、ロータリークラブと地区は、地元のライラ卒業生が国際ライラに出席するのを指名します。

地区のライラ関係者やカウンセラー同様、2人のロータリアンは長年のロータリー・ファミリーでインターアクターとローターアクターでした。

「彼らは、帰国して彼らの社会、国、そして世界のために、地区のロータリークラブと協力し奉仕プロジェクトを遂行します」と、マクルディ・ロータリークラブ（ベヌエ州、ナイジェリア）のイゴツチェは言います。

「彼らがロータリー・ロゴを見るか、ロータリーの事を聞くと、彼らは思うでしょう、「お～い、私はロータリーのプログラムに参加しましたよ。」と、「たとえ彼らがロータリーに入会しないとしても、彼らはロータリー活動を高く評価しています」とチェウは言います。